

8 インチ AI 顔認識検温システム

Face to Face 取扱説明書



アスカ株式会社 ロボットシステム事業部

2021e rev0.6.32

目次

はじめに.....	1
安全上のご注意.....	1
第1章 製品概要.....	3
1.1 製品仕様.....	3
1.2 本体外形と各部名称.....	4
1.3 本体画面の角度調整.....	5
第2章 各種設定.....	6
2.1 設定画面移行手順.....	6
2.2 システム情報.....	7
2.2.1 名簿(社員一覧).....	7
2.2.2 名簿追加(社員登録).....	8
2.2.3 記録(ログデータ).....	8
2.2.4 システム設定_顔検出.....	9
2.2.5 システム設定_画面・音声設定.....	10
2.2.6 システム設定_測温(温度測定).....	11
2.2.7 システム設定_設備.....	12
2.3 スクリーンセーバーの画面登録.....	13
2.3.1 プログラムの終了(android 待機画面).....	13
2.3.2 画面データのインストール.....	14
2.4 音量と時刻調整.....	15
2.4.1 音量調整.....	15
2.4.2 時刻調整.....	16
第3章 故障かな?と思ったら.....	17
第4章 外部機器接続について.....	18

はじめに

この度は **Face to Face** をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

本製品を正しく使用するために、はじめに本誌をお読みください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を次のように表示しています。必ずお読みになり、内容をよく理解したうえでお使いください。

■ 誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

この表示を守らずに誤った取り扱いをした場合に人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を守らずに誤った取り扱いをした場合に人が損害を負う可能性が想定される内容、または設置場所や装置に物的損害が想定される内容を示しています。

■ お守りいただきたい内容を区分して説明しています。



禁止

この表示は、してはいけない内容です。



強制

この表示は、実行しなければならない内容です。



警告



本製品を分解、または改造しないでください。
感電・火災・故障の原因となります。



本製品の上に重い物を載せたり、強い力をかけたり、落とさないでください。
破損する事があり、感電・火災・故障の原因となります。



破損したまま使用しないでください。
破損した場合は電源を切り、販売会社にご連絡ください。



本製品の中に金属片や導線の切りくずなどの異物を入れないでください。
水や金属が内部に入ると感電・火災・故障・誤作動の原因となります。



濡れた手で本製品や AC アダプタ、コネクタ類を触ったり操作しないでください。
感電・火災・故障の原因となります。



万一、本製品から煙が出たり、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本製品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
お客様自身による修理はおやめください。



AC アダプタは AC100V 以外の電圧で使用しないでください。
異なる電圧で使用すると感電・火災・故障の原因となります。



警告

	本製品の結線や取り付け・取り外しは、必ず電源の供給元を切った状態で行ってください。 感電・火災・故障・誤作動の原因となります。
	取り付けは正しく確実にを行い、人や物がぶつからない高さに設置してください。 落下や事故の原因となります。
	電源プラグは根本まで確実にコンセントに挿し込んでください。 挿し込みが不完全な場合、感電・発火の原因となります。
	AC アダプタは本製品に付属したものをお使いください。 付属以外の AC アダプタを使うと、故障・発火・誤作動の原因になります。
	同梱の AC アダプタは本機専用です。 別の機器には使用しないでください。



注意

	金属のエッジ部分で手をこすらないでください。 強くこするとケガの原因となります。
	本製品のファン排気口を塞がないでください。 故障・誤作動の原因となります。
	本製品を次のような場所に設置しないでください。 ・温度変化が急激で結露するような場所。 ・腐食性ガス、可燃性ガスが発生する場所。 ・振動、磁気、静電気、ノイズが発生する場所。 ・水、油、薬品、蒸気、湯気のかかる場所。 ・塵埃、塩分、鉄分の多い場所。 ・冷暖房の空気が直接あたる場所。 ・直射日光のあたる場所。 ・漏電、漏水の危険がある場所。 ・火気または熱気のこもる場所。
	電源コードを破損するようなことはしないでください。 ねじる、強く引っ張る、無理に曲げる、物を載せる、加熱する、加工する、傷付ける、束ねるなどの行為はしないでください。
	たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えないように注意してください。
	電源プラグの塵埃などは定期的に取り除いてください。 塵埃などが溜まると絶縁不良に繋がり、火災の原因となります。 塵埃などを取る時は電源プラグを抜き、柔らかい乾いた布で拭いてください。

■ 其他のご注意

- ・ 本書に記載された内容、仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品は日本国内でご使用ください。
弊社では日本国外の法令、規則等についてのお答えはできません。

第1章 製品概要

1.1 製品仕様

◇ 商品説明

本器 Face to Face はAIを使用した顔認識と赤外線による温度測定機能を有した機器となります。本製品での温度測定では顔の表面温度を測定する為、外気温の高い場所から時間をおかずに測定した場合は実際の体温よりも高く測定される事が有ります。37.5℃以上にて異常が発報されますのでこの場合は、体温計にて計りなおして頂きますようお願い致します。

◇ 本体仕様 AFT-100

寸法	374×135×85 mm (本体取り付け金具、突起物は含まず)
重量	約 1500g
消費電力	15W MAX (DC12V)
液晶画面	8 インチ (full view IPS LCD screen) 1280×800 400cd
オペレーティングシステム	Android
CPU	RK3288
メモリ	RAM 4GB (内部TFカード 32GB)
顔認識登録数	10,000
入場確認履歴	20,000
温度測定精度	±0.3℃
LED照明	白:人感 緑:検温正常 赤:検温異常(37.5℃以上にて点灯)
構造	防塵・防水に非対応
動作環境	温度:10~40℃, 湿度:10~80% (結露なきこと)

◇ 台座仕様 AFT-ST1

寸法	280×260×60 mm
重量	約 1500g
電源電圧	DC12V (Φ5.5-2.1)
その他	電源スイッチ、LANポート、USBポート×2

◇ ACアダプタ仕様 GA-1202000J

入力電圧	AC100V 50/60Hz
出力電圧	DC12V (2A)
出力電流	2A

1.2 本体外形と各部名称

◇ 本体外形



◇ 台座とACアダプタ



* 本体と台座の組み立て方法は、クイックガイドをご参照ください。

1.3 本体画面の角度調整

- ◇ 本体画面の角度調整は裏側のツマミを回して行います。
(下記を参照して画面調整を行ってください)



 緩む (反時計まわり)

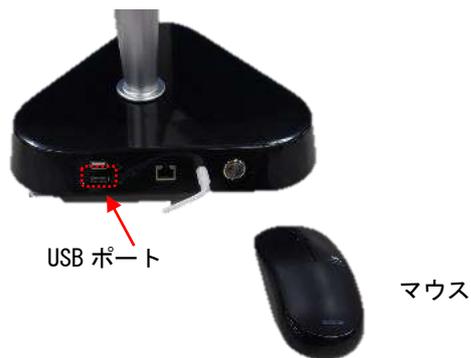
 締まる (時計まわり)

第2章 各種設定

2.1 設定画面移行手順

- * 本器 Face to Face の各種設定を行います。
- * USBマウスとキーボードを準備してください。(マウスのみでも設定は出来ます。)

- ① 本体のUSBポートにマウスを接続します。



- ② 液晶画面にマウスポインタが表示されますので右上の設定用アイコンをクリックしてください。
システム情報の画面が表示されます。



2.2 システム情報

2.2.1 名簿(名簿リスト)

登録社員の一覧を表示します。(本画面で登録内容の編集及び削除を行います。)

☆システム情報画面の[名簿]をクリックします。



名簿リスト メニュー

- ① 全部門 : 部門別の表示を選択します。
- ② +部署 : 部署追加します。
- ③ Q : 名簿を名前で検索します。
- ④ +新規 : 名簿新規登録します。
- ⑤ 同期 : 使用しません。
- ⑥ IMPORT : 社員データの書き込みを行います。
(本器にデータを書込みます。)
- ⑦ EXPORT : 社員データの読み出しを行います。
(本器からデータを読み出します。)

* 社員データのエクスポート(サンプル)

1	Department (Required)	Secondary department	Staff ID (Required, duplicate number is invalid, please keep unique within the)	Name (Required)	Gender (Required, male / female)	Position	Phone number (Required)	Avatar (Required, recommended size: 300px * 300px, the picture needs to	Are you on duty (Empty: On job 1: Leave)
2	日本		001	田中	男	事務			
3	日本		002	安藤	男				
4	日本		003	石川	男				
5	日本		004	鈴木	男	部長			
6	日本		005	太郎	男	課長			
7	日本		006	次郎	男	部長			
8	日本		007	林	男	部長			

2.2.2

名簿追加(社員登録)

社員の追加登録を行います。(名簿「社員一覧」の④+新規でも追加できます。)

☆システム情報画面の[名簿追加]をクリックします。



名簿追加手順

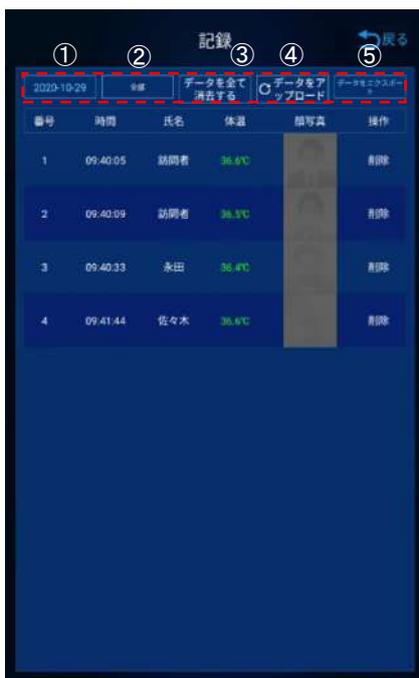
- ① 画面で確認しながら写真を撮る※
右下の枠に顔が登録されます。
- ② 名前を入力します。※
- ③ 性別を選択します。※
- ④ 部署を選択します。※
右側の+で部署の追加が出来ます。
- ⑤ 名簿の ID 番号を入力します。※
- ⑥ 役職を入力します。
- ⑦ 誕生日を入力します。
- ⑧ ひとこと・メモ
※は必ず入力して下さい。
- ⑨ 確定で追加完了です。

2.2.3

記録「ログデータ」

検温した記録を確認する事が出来ます。

☆システム情報画面の[記録]をクリックします。



記録メニュー

- ① 日付：表示する日付を選択します。
- ② 部署：表示する部署を選択します。
- ③ 記録データを全て消去する：記録消去します。
(消去したデータは復元出来なくなります。)
- ④ 記録データをアップロード：データの書き込み
(本器に記録データを書き込みます。)
- ⑤ 記録データをエクスポート：データの読み出し
(本器から記録データの読み出しをします。)

* 記録データのエクスポート(サンプル)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	氏名	社員番号	部門	役種	日付	時間	体温(°C)	湿度(%)	写真	縮画像
1	田中	011	日本		2020-10-20	16:27:39	36.6	97.9		
2	安藤	012	日本	客員	2020-10-20	17:19:31	36.6	97.9		
3	林	013	日本	課長	2020-10-20	17:20:06	36.6	97.9		
4	ゲスト				2020-10-20	17:20:27	36.3	97.3		
5	山本	016	日本		2020-10-20	17:20:28	36.4	97.5		
6	太郎	010	日本		2020-10-20	17:21:20	36.5	97.7		
7	次郎	000	日本		2020-10-20	17:21:32	36.5	97.7		

2.2.4 システム設定－顔検出

顔検出の設定を行います。(本設定が変更されると正しく動作しなくなる事が有りますのでご注意願います。)

☆システム情報画面の[システム設定]をクリックします。



システム設定「顔検出」

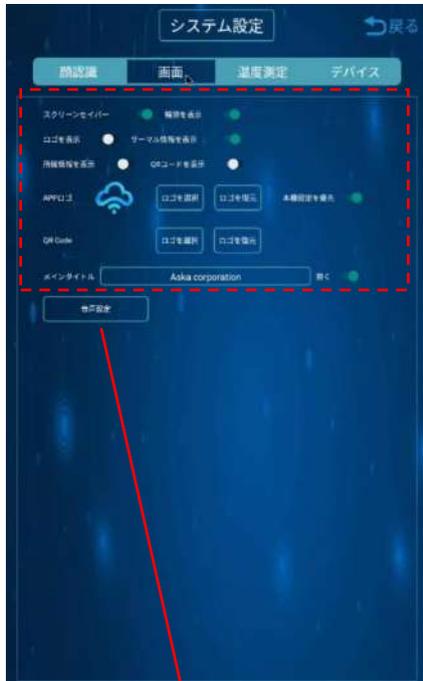
- ① 顔類似閾値を設定【80】※
- ② 生体検査をオンにする【OFF】
ON にすることで人物の判断をします。
- ③ マスク検知【ON】 マスクの警告表示
音声通知【OFF】 マスク音声警告
- ④ マスク検知閾値【50】※
- ⑤ 顔を水平に反転【】※
- ⑥ 顔写真表示【OFF】 ON 時顔写真を表示します。
- ⑦ 名前の読み上げ【ON】 登録者の名前表示
- ⑧ Voiceprompt【ON】 登録者の名前読み上げ
- ⑨ Colortips【ON】 ※LEDの色を使います。
- ⑩ カメラの角度以降と※は、変更禁止です。

2.2.5

システム設定－画面

各種画面と音声の設定を行います。

☆システム情報画面の[システム設定]・[画面]をクリックします。



システム設定「画面」

- ① スクリーンセーバー【ON】
不要の場合；OFFしてください。
- ② 輪郭を表示【ON】
画面上に人物の輪郭が表示されます。
不要の場合：OFFしてください。
- ③ ロゴを表示します。【OFF】APP ロゴマーク
- ④ 温度（サーマル）情報を表示します。【ON】
- ⑤ 所属情報を表示します。【OFF】
- ⑥ QRコードを表示します。【OFF】
- ⑦ 本器設定を優先【ON】※変更しないでください。
- ⑧ メインタイトル【ASKA corporation】
会社名などを入力して下さい。
- ⑨ 音声設定 → 画面が切替ります。



音声設定

- ① 音声速度【1.4】
- ② 音声案内の間隔【500 ミリ秒】
- ③ 歓迎のこぼ【いらっしやいませ】ON
- ④ Masksprompt【マスクをつけてください】OFF
- ⑤ 体温測定位置に誘導【顔を輪郭線に・・・】ON
- ⑥ Check againprompt【Please check again】OFF
- ⑦ 正常体温【#】（体温を言わない設定）
温度表示位置
先頭・タグ挿入 **最後**
温度表示【ON】
- ⑧ 体温異常
【体温計で計りなおしてください】
温度表示位置
先頭・タグ挿入 **最後**
温度表示【ON】
- ⑨ 摂氏度【度】華氏度【華氏】
音声変更する場合は【 】内の文字を
変更してください。

2.2.6

システム設定－測温

測温の各種設定を行います。

☆システム情報画面の[システム設定]・[測温]をクリックします。



システム設定「測温」

- ① 現在モード【MLX-16*4】センサータイプ※
熱画像 ・ 勤務
 ・“勤務”レ点の場合、登録社員のみリレー接点が ON します。
 Visitor も接点出力させる場合レ点を外してください。
 ・レ点を外すと、顔検出画面の名前の読み上げの設定に関わらず、顔認識なくなります。
- ② プライバシーモード【OFF】
 ON にすると顔の画像を記録しません。
- ③ データを記録しない【OFF】
 ON で記録データを保存しません。
- ④ 華氏【OFF】※
- ⑤ 低温モード【ON】※
- ⑥ 高温モード【OFF】※
- ⑦ 現在の補正值【0.0°C】※
- ⑧ 最低温度【35.5°C】
- ⑨ 警報温度【37.4°C】
- ⑩ CardAttendance【OFF】※使用できません
 正常温度は低温 35.5°C～高温 37.4°Cとなります。
 ※は変更しないでください。

2.2.7

システム設定－デバイス

☆システム情報画面の[システム設定]・[デバイス]をクリックします。



システム設定「デバイス」

- ① ICリーダ【OFF】※
本器はICリーダを搭載しておりません。
- ② 開錠時間【2秒】
- ③ データ保存期間
記録データの保存期間を設定します。
- ④ UsbPrinter【OFF】※使用できません。
- ⑤ 名簿をエクスポート : 名簿をUSBメモリに保存します。
- ⑥ デバイス再起動 : 本器が再起動されます。
- ⑦ 管理パスワード変更 : パスワードの設定が出来ます。
- ⑧ タイマー設定
電源ON/OFFのタイマーを設定する事が出来ます。
- ⑨ Bluetooth Printer setting : ※使用できません。
- ⑩ データを全て消去する。
記録データ、社員データを消去します。
- ⑪ データの初期化※
初期化はしないでください。

2.3 スクリーンセーバーの画面登録

* 本器 Face to Face にスクリーンセーバーのデータを登録します。

2.3.1 プログラムの終了

- ❶ 2.1 項と同様に USB ポートを使用してマウスを接続します。
- ❷ マウスの右クリックを押してプログラムを終了させます。
- ❸ 下記の画面が出てきましたらプログラムは終了出来ました。



2.3.2 画面データのインストール

Android の機能を使ってデータをインストールします。

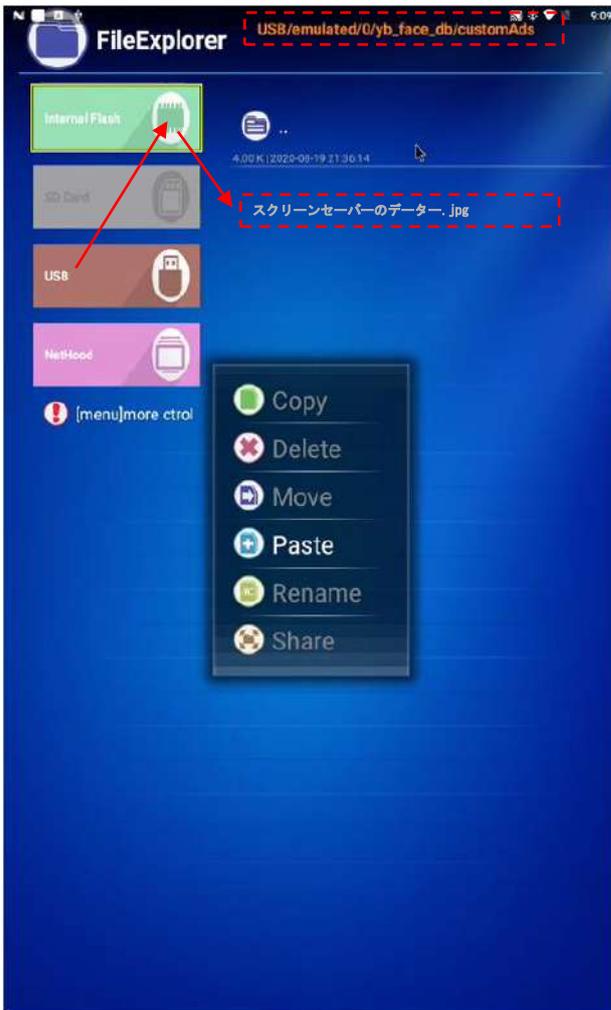
(Android の詳細説明は省略させていただきます)

①スクリーンセーバーのデータを準備して USB メモリにコピーします。

(データは JPG か PNG で 縦 1768px | 横 1080px |)

②FileManager を起動してスクリーンセーバーのデータを下記のフォルダにコピーします。

(フォルダの場所: Internal Flashh/yb_face_db/customAds)



【USB から本体にデータをコピー】

*左図の Copy, Paste などのサブメニューは、マウスの左ボタン長押しで表示されます。

③ コピーが終了したら古いデータを削除してください。

④ ①～③が終了したら電源を 切➡入 して下さい。

以上でスクリーンセーバーのセットは完了です。

* 弊社では、スクリーンセーバー画像の作成を有料で承っております。ご要望の場合には、弊社宛ご連絡ください。

2.4 音量と時刻調整

* 本器 Face to Face の音量と時刻調整方法を記載します。

(Android の設定となりますので詳細説明は省略させていただきます)

2.4.1 音量調整

本器が発報する音量を調整する場合下記の設定を行ってください。

* 2.3.1 に従ってプログラムを終了します。



2.4.2

時刻調整

時刻に修正が必要な場合、下記の調整をお願いします。

* 2.3.1 に従ってプログラムを終了します。

時刻調整

- ① プログラム・終了
- ② Settings・選択
- ③ 日付と時刻・選択
- ④ 時刻調整・選択
- ⑤ 時刻調整 ➡ OK
- ⑥ 電源 OFF/ON

第3章 故障かな？と思ったら

修理のご依頼やお問い合わせの前に、以下の内容を確認してください。
それでもまだ異常があるときは、販売元にご相談ください。

* 画面が映らない

確認する内容	説明・調べるところ
コンセントに電源が来ていますか？	ブレーカーを確認してください。
本体と AC アダプタは接続されていますか？	本体と AC アダプタを接続してください。
電源スイッチは入っていますか？	電源スイッチを入れてください。
台座の中の電源ジャックは正しく接続されていますか？	電源ジャックの確認をしてください。
電源ボタンを押してから立ち上がるまで数分かかります。	数分間お待ちください。

* 検温されない、スクリーンセーバー画面のまま反応しない

内容	説明・調べるところ
マスクや帽子をしている場合、人物として認識できていない事が考えられます。	マスクを外すか、ずらして検温してください。。
画面に複数の人が映っていないですか？	画面に映り込む人は 1 人にしてください。

* 温度が正しくない

内容	説明・調べるところ
屋外で使用していませんか？	屋内で使用してください。
屋内であっても太陽の光が本体に差し込んでいないですか？	太陽光が当たらないところに移動してください。
本器の正面に熱の発生するものが映り込んでいませんか？	テレビモニター、シャンデリア、白熱電球などが映り込まない方向にむけて使用してください。
実際の体温測定した数値と大きくずれている。	本器は人から放射される赤外線の量を計測し、表面温度を測定しておりますので、表示値は体温とは異なります。表面温度から、温度が高い方の判別を行うことを目的としております。

第4章 外部機器接続について

本器には、リレー出力端子が準備されており、対応する機器と接続して使用することができます。

☆リレーがオンする場合

以下の2つの状況から選択することができます。

- (1) 本器に登録された人物が出現し、かつ測定温度が正常範囲だった場合
- (2) 出現した人物が、登録された人物か否かに関わらず、測定温度が正常範囲だった場合

* 出荷設定は(1)の状態になっています。(2)に切り替えたい場合には、システム設定「测温」の「勤務」のチェックを外してください。

* リレーの遅延時間は、システム設定「設備」で設定することができます。

コネクタ一覧

